

天皇陛下に 牛久産の米と粟を献上

10月24日、皇居で「新嘗祭献穀
献納式」が行われました。

新嘗祭は、例年11月23日(勤労感謝の日)に皇居で行われる、新穀を供え感謝する行事です。起源は古く、『古事記』にも天照大御神が行ったことが記されている歴史あるもので、宮中恒例祭典の中の最も重要なものとされています。

それに先だって行われる「新嘗祭献穀献納式」は、新嘗祭に使用される米や粟を、各都道府県から選ばれた生産者が天皇陛下に献納するものです。毎年10月下旬に皇居で実施されています。

この栄えある行事に、茨城県を代表して牛久市から、下根町の山越康義さんご夫妻が米を、女化町の澤田辰夫さんご夫妻が粟を持ち寄り参列しました。献納された米と粟は、天皇陛下も召し上がること。天皇陛下からは、お礼とともに農作物の作柄状況などについてお尋ねがあり、参加者一同、感激もひとしおのことでした。

問 農業政策課 ☎ 内線1521、1522



皇居で行われた「新嘗祭献穀献納式」に参列した山越さんご夫妻(前列右から2人)と澤田さんご夫妻(前列左から2人)、(後列左から)池辺勝幸市長、茨城県農林水産部の宮本次長

市民体育祭開催！ 秋空の下、

元気に交流

10月13日、牛久・岡田・奥野各地区で市民体育祭が行われました。奥野地区では、俵ポッチに大き



「かぼちゃ引きリレー」では、コロコロ転がるかぼちゃに四苦八苦(奥野地区)



「〇×ゲーム」では、文化ホールの席数などが出題されました(岡田地区)



「スプーンレース」では子どもたちの顔も真剣(牛久地区)

なかぼちゃを載せてバランスとスピードを競う「かぼちゃ引きリレー」が行われ、勢い余って転倒するランナーも出るなど、会場は大いに盛り上がりました。岡田地区では、〇×エリアに分かれて勝ち抜き戦を行う「〇×ゲーム」を実施。頭も使う種目に参加者は歓声を上げていました。牛久地区の「スプーンレース」では、参加者は悪戦苦闘しながらスプーンの上に載せたボールを落とさないように走っていました。どの会場でも、健康増進を図りながら、市民同士が交流を深めました。

土浦・牛久場所開催



「幕内土俵入」では、稀勢の里関などが子どもを抱えて土俵上を一周

10月14日、土浦市の霞ヶ浦文化体育会館を会場に、平成25年秋巡業「天相撲土浦・牛久場所」が開催されました。この地方巡業は6年ぶり2回目の開催となり、牛久市出身の大関稀勢の里関や土浦市出身の高安関など、テレビでもおなじみの力士たちが参加し、本場所さながらの取組が見られました。土俵上では、「公開稽古」や「人氣力士とちびつこの稽古」などが行われ、普段はなかなか見られない大相撲の魅力に、観客の皆さんは大満足。そして、幕内取組に稀勢の里関が登場すると、観客からはこの日一番の声援が送られました。

自分で梨を収穫体験

9月10日、オーナーによる梨の収穫がスタートしました。生産者の中島さんの管理の下、たくさんのお梨となり、オーナーたちはそれぞれ収穫を楽しみました。

初日に訪れたのは、梨好きの山本さんご一家(左写真)。新聞記事を読んで、すぐに申し込んだそうです。ご主人の豊さんは、5カ月になる美陽ちゃんを抱っこした奥様の由里子さんと一緒に収穫を楽しみました。今回収穫された梨の「新高」は、爽やかな甘さとともに収穫後も長く保存できるのが特長。来年は皆さんもオーナーになってみませんか？



梨の収穫を楽しむ山本さんご一家

家庭教育学級合同研修会

10月4日、市中央生涯学習センター文化ホールで



「平成25年度牛久市家庭教育学級合同研修会」が開催されました。第1部「子育て演習」では岡田小学校教頭の立花勝行先生を招き、親子で子どもの声をいかにして聴くかを各場面を想定しながら、参加者と一緒に考えていきました。

第2部では、キャスター・エッセイストとしてご活躍中の浜尾朱美さん(右写真)を講師として、『地域ぐるみで子育て』く竹取の翁・姫からあなたまでくをテーマに講演がありました。浜尾さんは、社会全体で子どもの育ちを支える重要性やキヤスター時代の体験などを語りました。また、コミュニケーションの崩壊が始まってきている世の中について疑問を呈するとともに、ご自身の子育て体験を語りました。

秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン

9月19日、ツタヤ牛久店(さくら台1丁目)前の交差点で「秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン」が実施されました。

早朝7時30分から牛久市交通安全対策協議会や牛久警察署などの関係団体約70人が参加し、赤信号で停止した車の運転者や歩行者に、シートベルトの着用と交通事故防止を呼び掛けました。それに合わせて、新米と反射キーホルダー、チラシなどの交通安全啓発品を配布しました。このような街頭キャンペーンは年間4回実施されています。



ドライバーに安全運転を呼び掛け

チュニジアで国際貢献

9月20日、市内に在住の平田昌信さんがJICAボランティアとしてチュニジアに派遣されることを報告するために市役所を表敬訪問しました。

チュニジアでは現在、車が普及・拡大し、修理などの技術向上が急務となっています。平田さんは整備士としての経験を活かし、チュニジア国立の職業訓練センターの自動車整備科で、2年間技術指導などを行う予定です。平田さんは「現地で若者の雇用拡大に貢献し、頑張りたいです」と話しました。



チュニジアへ派遣された平田さん(写真右)

認知症と糖尿病の関連講演会

10月12日、市中央生涯学習センター文化ホールで(財)桐仁会と市主催による「第25回県民のための健康管理講座」が開催され、約700人の来場者が熱心に聞き入りました。

近年、認知症と糖尿病には関連性があると言われています。そこで、認知症研究の第一人者、筑波大学精神神経科教授・朝田隆先生をはじめ、糖尿病について鈴木浩明先生、運動について理学療法士である鈴木康裕先生、栄養全般について管理栄養士である岩部博子先生から「今日から取り組める日常生活のコツ」を具体的にお話いただきました。



講演する朝田隆先生

華やかな花を咲かせました

市内のグループホームで施設利用者とスタッフが大きなパッチワークを完成させました。

パッチワークは、スタッフに助けられながら施設利用者が端切れなどの布を切り縫いして約2カ月をかけて完成させたもので、色とりどりの布で作られた大輪の花火が表現されています。作成した皆さんは「スタッフに助けてもらいながら一緒に作りました」、「大変でしたが、完成したときはうれしかった」と話しました。



牛久ゴールデンボーイズが優勝！

<9月21～23日、山吹運動公園野球場(常陸太田市) 参加16チーム>
熟年野球(50歳以上)の茨城県熟年野球県大会で、牛久ゴールデンボーイズが決勝戦でトンカチクラブ(ひたちなか市)に勝利し、見事優勝しました。



リトル・メジャー優勝！関東大会へ

牛久リトルリーグメジャーチーム(6年生)は、東関東連盟秋季大会(茨城・千葉30リーグ参加)で圧倒的な力を発揮し、優勝しました。

同チームのメジャー大会優勝は、2000年の全日本選手権大会以来の快挙で、11月開催の関東大会にコマを進めます。



スポーツチャンピオンフェスティバル2013

第10回牛久遠的・近的弓道大会～遠的の部結果～ <9月29日、牛久運動広場、参加54人>

遠的個人

順位	高校の部	一般の部
優勝	師岡怜奈 (牛久栄進高校)	福嶋勝之
準優勝	利根川実華 (牛久高校)	高木勉
第3位	大山和樹 (牛久栄進高校)	坂本允

遠的高校団体

<敬称略>

順位	チーム名
優勝	牛久栄進高校 A チーム (齊藤・塚田・師岡)
準優勝	牛久栄進高校 B チーム (森・鈴木・本多)
第3位	牛久高校 B チーム (安部・利根川・岡田)

※本年は近的の部と遠的の部に分けて開催(近的の部は5月に実施済み)。

平成25年度秋季市民卓球大会結果

<9月21日、牛久運動公園体育館、参加128人>

男子ダブルス

順位	1位リーグ	2位リーグ	3位リーグ
第1位	大出・須田	石添(敏)・羽賀(仁)	柏倉・飯塚
第2位	石添(直)・羽賀(昭)	坂上・山根	中村・狩野
第3位	山越・鴻巣	佐々木・石堂	

女子ダブルス

<敬称略>

順位	1位リーグ	2位リーグ
第1位	石添(容)・佐藤(春)	堀・渡辺
第2位	藤田・佐藤(真)	池田・小山
第3位	阿弥・佐藤 上杉・相澤	

男子シングルス

順位	1位リーグ	2位リーグ	3位リーグ
第1位	石添	堂下	柴山
第2位	須田	木村	中村
第3位	羽賀 大出	山本 佐々木	

女子シングルス

順位	1位リーグ	2位リーグ
第1位	上杉	佐藤(真)
第2位	石添(容)	上杉
第3位	佐藤(春) 阿弥	山崎 小山

牛久野球連盟

第42回市内親善秋季野球大会結果

<9月1～29日、牛久運動公園、参加56チーム>

Aブロック

順位	チーム名
優勝	Pleasure
準優勝	チームさくら
第3位	茨城マーリンズ ビッグエイト



Bブロック

順位	チーム名
優勝	ティガース茨城
準優勝	joker
第3位	K-Boys Forever



平成25年度牛久市中学校

新人体育大会(野球の部)結果

<9月27日・28日、牛久運動公園、参加市内5中学校>

順位	学校名
優勝	牛久南中学校
準優勝	下根中学校
第3位	牛久第一中学校

